

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設 に係る整備、維持補 修又は維持 運営等措置	山都町町道舗装更新事業 浜町 下名連石線舗装更新工事	山都町	9,537,000	9,160,000	
2	公共用施設 に係る整備、維持補 修又は維持 運営等措置	山都町町道舗装更新事業 昭午 町上寺線舗装更新工事	山都町	8,217,000	7,875,000	
3	公共用施設 に係る整備、維持補 修又は維持 運営等措置	山都町町道舗装更新事業 新町 線舗装更新工事	山都町	8,360,000	8,040,000	

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	山都町町道舗装更新事業 浜町下名連石線舗装更新工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		山都町	
交付金事業実施場所		山都町城平	
交付金事業の概要		<p>本町の町道については、路線数にして1,046路線、総延長約943kmであり、施設の老朽化による維持管理も重要となっています。併せて、これら全てを整備することは財源的にも無理があるため、町道の中から幹線道路としての位置づけをしている、主要集落間の生活道から整備を進める必要があります。</p> <p>しかしながら、他の補助制度の対象とならない路線については、一般財源の可能な範囲で事業を進めるか、起債により管理を進めなければならないことから、本交付金の活用により老朽化したアスファルト舗装の改修を行い、地域住民の通行の安全性と、国道へのアクセスを最適化し、観光施設等へのアクセスなど利便性を高めることが期待されます。</p> <p>浜町下名連石線舗装更新工事 As舗装工 (t=5cm) A=1,671㎡ (L=252.6m×W=6.76m) 区画線工L=754.5m</p>	
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 第2次山都町総合計画（後期基本計画：2020～2024） 基本理念 カクゴ③「山の都」での暮らしを守る環境づくり 基本方針③ 社会基盤の整備及び利活用の促進 基本施策1 道路網・水道等の社会生活基盤整備</p> <p>道路整備事業【重要戦略】として幹線、支線及び集落内の町道整備を計画的な補修、更新等を行い、道路の長寿命化の推進を図っている。町道浜町下名連石線については、道路幅員も5.5m～8.5m程度の町道ではあるが、道路整備後、複数年が経過し、路盤の凸凹など損傷が激しいため舗装更新事業により、道路通行の安全が確保され、国道等へのアクセスも改善されることから、住民生活・道路通行の利便性の向上が期待される。</p> <p>【目標】 舗装更新事業を行うことで、道路通行の安全が確保され、国道から観光地である「通潤橋」や今後、整備される「道の駅」等へのアクセスも改善されることから、生活利便性の向上及び観光産業の振興に寄与することが期待され、地域住民の福祉の向上につながる。</p> <p>○町道舗装更新計画延長 1,200m/年 令和4年度 1,900m</p>	
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由			
		令和4年度	

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度	
	町道舗装更新計画延長 1,200m/年 令和4年度 1,900m	目標年度における年間舗装更新延長を延ばす。	成果実績	m	2,277		
			目標値	m	1,900		
			達成度	%	119.8%		
	評価年度の設定理由						
	事業実施翌年度、早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本事業を実施したことにより、轍やクラック、舗装穴等が解消され、車両の円滑な交通の確保及び振動解消による沿線住環境の改善が図ることができました。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度		
	山都町町道舗装更新事業の更新路線数		活動実績	本	1		
			活動見込	本	1		
			達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等		令和4年度				備考	
総事業費		9,537,000					
交付金充当額		9,160,000					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		9,160,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
工事請負		指名入札		株式会社 太平洋建設 (熊本県熊本市)		9,537,000	
交付金事業の担当課室		建設課					
交付金事業の評価課室		建設課					

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	山都町町道舗装更新事業 昭午町上寺線舗装更新工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		山都町	
交付金事業実施場所		山都町下馬尾	
交付金事業の概要		<p>本町の町道については、路線数にして1,046路線、総延長約943kmであり、施設の老朽化による維持管理も重要となっております。併せて、これら全てを整備することは財源的にも無理があるため、町道の中から幹線道路としての位置づけをしている、主要集落間の生活道から整備を進める必要があります。</p> <p>しかしながら、他の補助制度の対象とならない路線については、一般財源の可能な範囲で事業を進めるか、起債により管理を進めなければならないことから、本交付金の活用により老朽化したアスファルト舗装の改修を行い、地域住民の通行の安全性と、国道へのアクセスを最適化し、観光施設等へのアクセスなど利便性を高めることが期待されます。</p> <p>昭午町上寺線舗装更新工事 As舗装工 (t=5cm) A=1,367㎡ (L=282.9m×W=5.0m) 区画線工L=562m</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 第2次山都町総合計画（後期基本計画：2020～2024） 基本理念 カクゴ③「山の都」での暮らしを守る環境づくり 基本方針③ 社会基盤の整備及び利活用の促進 基本施策1 道路網・水道等の社会生活基盤整備</p> <p>道路整備事業【重要戦略】として幹線、支線及び集落内の町道整備を計画的な補修、更新等を行い、道路の長寿命化の推進を図っている。町道昭午町上寺線については、道路幅員も3.5m～7.0m程度の町道ではあるが、道路整備後、複数年が経過し、路盤の凸凹など損傷が激しいため舗装更新事業により、道路通行の安全が確保され、国道等へのアクセスも改善されることから、住民生活・道路通行の利便性の向上が期待される。</p> <p>【目標】 舗装更新事業を行うことで、道路通行の安全が確保され、町道から国道等へのアクセスも改善されることから、生活利便性の向上及び観光産業の振興に寄与することが期待され、地域住民の福祉の向上につながる。</p> <p>○町道舗装更新計画延長 1,200m/年 令和4年度 1,900m</p>	
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由			
		令和4年度	

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度	
	町道舗装更新計画延長 1,200 m/年 令和4年度 1,900m	目標年度における年間舗装更新延長を延ばす。	成果実績	m	2,277		
			目標値	m	1,900		
			達成度	%	119.8%		
	評価年度の設定理由						
	事業実施翌年度、早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本事業を実施したことにより、舗装のひび割れが解消され、車両の円滑な交通の確保及び振動解消による沿線住環境の改善を図ることができました。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度		
	山都町町道舗装更新事業の更新路線数		活動実績	本	1		
			活動見込	本	1		
			達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等		令和4年度				備考	
総事業費		8,217,000					
交付金充当額		7,875,000					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		7,875,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
工事請負		指名入札		株式会社 協信総業 (熊本県上益城郡山都町)		8,217,000	
交付金事業の担当課室		建設課					
交付金事業の評価課室		建設課					

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	山都町町道舗装更新事業 新町線舗装更新工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		山都町	
交付金事業実施場所		山都町滝上	
交付金事業の概要		<p>本町の町道については、路線数にして1,046路線、総延長約943kmであり、施設の老朽化による維持管理も重要となっております。併せて、これら全てを整備することは財源的にも無理があるため、町道の中から幹線道路としての位置づけをしている、主要集落間の生活道から整備を進める必要があります。</p> <p>しかしながら、他の補助制度の対象とならない路線については、一般財源の可能な範囲で事業を進めるか、起債により管理を進めなければならないことから、本交付金の活用により老朽化したアスファルト舗装の改修を行い、地域住民の通行の安全性と、国道へのアクセスを最適化し、観光施設等へのアクセスなど利便性を高めることが期待されます。</p> <p>新町線舗装更新工事 As舗装工 (t=5cm) A=1,209㎡ (L=391.5m×W=3.9m) 区画線工L=629m</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 第2次山都町総合計画（後期基本計画：2020～2024） 基本理念 カクゴ③「山の都」での暮らしを守る環境づくり 基本方針③ 社会基盤の整備及び利活用の促進 基本施策1 道路網・水道等の社会生活基盤整備</p> <p>道路整備事業【重要戦略】として幹線、支線及び集落内の町道整備を計画的な補修、更新等を行い、道路の長寿命化の推進を図っている。町道新町線（蘇陽）については、道路幅員も3.5m～4.5m程度の町道ではあるが、道路整備後、複数年が経過し、路盤の凸凹など損傷が激しいため舗装更新事業により、道路通行の安全が確保され、国道等へのアクセスも改善されることから、住民生活・道路通行の利便性の向上が期待される。</p> <p>【目標】 舗装更新事業を行うことで、道路通行の安全が確保され、国道から町道へのアクセスも改善されることから、商店街等の生活利便性の向上及び観光産業の振興に寄与することが期待され、地域住民の福祉の向上につながる。</p> <p>○町道舗装更新計画延長 1,200m/年 令和4年度 1,900m</p>	
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由			
		令和4年度	

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度	
	町道舗装更新計画延長 1,200m/年 令和4年度 1,900m	目標年度における年間舗装更新延長を延ばす。	成果実績	m	2,277		
			目標値	m	1,900		
			達成度	%	119.8%		
	評価年度の設定理由						
	事業実施翌年度、早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本事業を実施したことにより、舗装のひび割れが解消され、車両の円滑な交通の確保及び振動解消による沿線住環境の改善を図ることができました。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度		
	山都町町道舗装更新事業の更新路線数		活動実績	本	1		
			活動見込	本	1		
			達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等		令和4年度				備考	
総事業費		8,360,000					
交付金充当額		8,040,000					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		8,040,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
工事請負		指名入札		株式会社 今村建設 (熊本県上益城郡山都町)		8,360,000	
交付金事業の担当課室		建設課					
交付金事業の評価課室		建設課					